

① 学習指導案

釧路市立青葉小学校			
第3学年 単元名：「まちの景観グランプリ」（地域）			
〔全30時間扱い〕			
何を学ぶか		身近な景観を構成する要素の多様性に気づき、見ることから見ることへつなげ、普段見慣れた景観を見つめ直し、よさやおもしろさを持ちながら地域への関心を深める。	
何ができるようになるか	知識および技能		学びに向かう力、人間力
	タブレットを活用したまちのよさやおもしろさ等のまとめ方がわかるとともに、他のグループが作成したワークシートや地図からその景観を見つけることができる。		見慣れた景色の中にあるよさやおもしろさを意欲的に探究すると共に友だちと協力して活動している。
時	どのように学ぶか	学 習 活 動	備 考
〔課題の設定〕	1 2 (2)	○教師が用意した意外なおもしろさがある写真を見ながら、校内のどこのばしょか考える。 ○実際にどこにあるか探し、タブレットで撮影し、ロイロノートに提出する。 ○校区探検を生かし、青葉小学校の校区で意外なおもしろさやよさを探しに行く課題を設定する。 青葉のおもしろまちパーツをさがそう。 ○探しに行くために必要なことを考える。 ・場所 ・時間 ・メンバー ・持ち物 ・方法 など	・「景観まちづくり」学習助成事業」を申請する。 プログラムNo.02 ・校内“部分写真”をクイズ形式で用意する。 ・タブレットでの写真撮影や提出などの技能や使用の約束を確認する。 ・校内での発見を生かして校区に広げる。
	3 5 (3)	○グループで協力しながら青葉小学校区のおもしろさやよさ探しにでかける計画を立てる。 ・新川地区 ・駒場地区 ・共栄大通り ・新橋大通 など ○青葉のおもしろまち探しに行く。（2時間続き） ・時間 ・グループ ・約束 ・タブレットの使用注意 ・学校支援ボランティアの協力 ・わからないことを尋ねるときの約束マナー など確認	・広い校区なので、児童の思いや願い、実態に即して地域を絞った方がよい ・社会科まちたんけんとの関連。

〔整理・分析〕	6 7 (2)	○撮影した写真をもとにロイロノートにまとめる。 ・初めての活動なので、教師からワークシート（型）を用意し、活用させる。 ○グループ内交流や互いに見合い、アドバイスしあってより良いものにする。	・個人またはグループの設定は学級の実態による
〔まとめ・表現〕	8 (1)	○「これはどこだ」クイズ大会を開く。 ワールドカフェ方式などで発表をする。 ○学習を振り返って、まちの魅力やまちの一員としての関わり方について考える。	・参観日や授業公開にして保護者や地域の方に発表することで相手意識目的意識を高める。 ・市役所都市計画課の方にも参加していただく。
〔課題の再設定〕	9 10 (2)	○市役所都市計画課の職員から景観とは何か、釧路ではどんな景観まちづくりをしているか話してもらう。 ・景観とはなにか ・よい景観のメリット（住みやすい、きれい、人が増えるなど） ・釧路市の景観まち歩きマップの紹介 など ○釧路や青葉地区のよい景観を伝えたい課題意識を持つ。 まちの景観カルタをつくろう。 ○カルタをつくるために必要なことを考える。 ・探し方 ・探検 ・時間 ・メンバー ・持ち物 ・方法 ・依頼や質問の仕方 など	・「景観まちづくり」学習助成事業」を申請する。 - プログラム№.05 ・タブレットでの写真撮影や提出などの技能や使用の約束を確認する。 ・パーツ探しを生かして景観さがしに広げる。
〔情報の収集〕	11 20 (10)	○タブレットや書籍等で釧路または青葉小校区の景観探しをする。（2時間） ○都市計画課作成の「釧路市景観まち歩きマップ」をもとに北大通り周辺を景観さがしする。（3時間） ○青葉校区に探しに行く。（2～3時間続きで2回） ・時間 ・グループ ・約束 ・タブレットの使用注意 ・学校支援ボランティアの協力 ・わからないことを尋ねるときの約束マナー など確認	・インターネットの検索の仕方や約束を確認する。 ・グループでの探検を基本とする。状況によっては保護者や学校支援ボランティアの協力を仰ぐ。 ・社会科まちたんけんとの関連
〔整理・分析〕	21 26 (6)	○調べたことをもとにかるたをつくる。 ・教師からカルタの型を用意し、活用させる。 ○グループ内交流や互いに見合い、アドバイスしあってより良いものにする。	・基本は個人とするが実態によってはグループでもよい ・タブレットで写真を活用しながら作成するとよい。

「まとめ・表現」	27 30 (4)	○できた景観カルタで遊んだり、紹介しあったりする。 ワールドカフェ方式などで発表をする。 ○できたカルタを市役所やまちの郵便局など、多くの人の目につきそうなところに掲示させてもらう。 ○学習を振り返って、釧路や青葉校区の魅力、よさや地域の一員としての関わり方について考える。	・保護者や地域の方に参加よびかけすることで相手意識目的意識を高める。 ・マス刷りして校内以外でも観てもらえる場を探す。 ・地域のよさや愛着につなげる。 ・「景観まちづくり」学習助成事業」に報告する。
-----------------	--------------------------	---	---

02 車名・種別名(全6時間)
これはどこだ? 探してみようまちパーツ

1. 学習のむらい

2. 學習活動

3. 準備するもの

4. 孝親の流れ(徳義風節のイメージ)

1 1月10日 土	「新春のあけましておめでとう」の挨拶を交わす。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。
2 1月11日 日	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。
3 1月12日 月	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。
4 1月13日 火	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。	お年玉を渡す。 お年玉を渡す。

5. 留题点

6. 発展へのヒント

05 単元名・題材名(全6期間)
地域カルタをつくろう

1. 学習のねらい

2. 學習活動

3. 準備するもの

4. 学習の流れ(授業展開のイメージ)

[illegible]

5. 关键点

6. 発表へのヒント

② 事業実施報告書詳細

学校名 釧路市立青葉小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1 ～ 5	校内 教室	○学校の中の面白い景観を探して、景観に興味をもつ。 ○学校周辺の面白い景観をグーグルマップで探す。	○学校の中を探検して面白い景観を見つけた。	○各児童ともに景観に興味をもち、楽しんで取り組んでいた。
6 ～ 11	学校区 教室	○学校区を探検して面白い景観を見つけてタブレットで写真を撮る。 ○撮った写真をもとに景観クイズを作成する。	 △作ったクイズを友達に発表。	○各児童とも真剣に取り組め熱心に考え活動していた。
12 ～ 22	釧路市内 教室	○釧路カルタの紹介を行う。 ○出前授業で釧路の景観について知る。 ○カルタの素材を見つけるために釧路市内を探検して、景観をタブレットで撮影する。	  △景観の写真をタブレットで撮影する。	○各児童ともに自分の好きな景観を選び、カルタをつくための活動に熱心に取り組んでいた。
23 ～ 31	教室	○釧路の景観カルタを作成する。 ○作ったカルタで遊ぶ。 ○2年生に景観カルタを紹介する。	○写真をもとにカルタを作成した。 ○作ったカルタで遊び、2年生にカルタ紹介した。 ○釧路教育局主催の景観フォトコンテストにも出品した。	○各児童ともに真剣にカルタ作りを行い、完成したカルタで楽しく遊んでいた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点 ・ 日常の行動範囲である校区の景観を調べる活動を経てから、釧路市内の景観を調べる活動へと広げていった。 ・ 釧路市の景観について、市役所の方からの話を聞き、関心を高めた。 ・ 調査活動では、気になった景観を見つけたら写真を撮り、記録として残すようにした。 ・ クイズやカルタを作って身近な人に伝えるというめあてを決め、児童が主体的に取り組めるようにした。
(2) 実施にあたり苦労した点 ・ 「景観」という言葉の意味を捉えさせることが難しかった。 ・ 限られた時間で、釧路市内のどこの景観を調査するかを決めることに苦労した。 ・ カルタ作りでは、景観のよさを短い言葉で表現させることに時間がかかった。
(3) 児童の反応 ・ 校区や釧路市内全体の景観について関心を高め、お気に入りの景観を見つけては意欲的に写真を撮ったり、気づいたことをメモしたりしていた。 ・ 景観のよさをどのように伝えればよいかを考え、意欲的にがんばってクイズやカルタを作っていた。 ・ 友達の作ったクイズに挑戦したり、みんなでカルタ大会をしたりして、今まで知らなかった景観に気づくことができた。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化 ・ 実際に現地に行き様々な景観を調べたり、釧路市が進める景観に配慮したまちづくりについて知ったりすることで、指導に生かすことができた。
(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕 ・ 伝え方の表現方法として、クイズやカルタ以外も検討したい。（新聞、ポスター、絵本、パンフレット等）